

月刊 新翔タイムズ

第79号
新翔タイムズ
編集室
発行・熊野新聞社



志賀高原でスキー・スノーボード 2学年122人が修学旅行



1月27日(火)から30日(金)まで、2学年122人は長野県志賀高原一の瀬スキー場でスキー・スノーボード研修を実施した。天候にも恵まれ、毎日全員がゲレンデに出て、大きな事故もなく無事終えることができた。
実習2日目には、自分たちで自由にリフトに乗って滑るフリー滑走をして、楽しく過ごした。また、夜にはホテルの大広間でいす取りゲーム・〇×ゲーム・ビンゴゲームなどを楽しみ、修学旅行委員会を中心に盛り上がった。
寒さ厳しい環境でのスキー・スノーボード実習や友人と寝食をともにしたことが一生の思い出になり、今後の学校生活にいかされることを期待している。



好天に恵まれ

閉講式

お楽しみ会



1年生144人が職業体験

72事業所の協力で「インターンシップ」



1月28日(水)～30日(金)の3日間、1学年144人の生徒が地元72事業所の協力を得て職業体験をした。産業社会と人間」という科目で1年間学習してきた内容の確認・まとめとして位置づけられた今回のインターンシップは、遅刻や欠席もほとんどなく、とても充実したものとなった。生徒からは「しんどかったが、楽しかった」「将来のことがよくわかった」などの声が多かった。また、巡回指導を担当した教員からは「学校とは違う顔が見られて嬉しかった」「概ねみんなよく頑張っている」とのコメントがほとんど。この3日間の経験は、今後生徒達

ケーソンの据え付けなど 建設技術系列 現場見学

19日(月)、2年生 建設技術系列の生徒7人

1月19日(月)、2年生建設技術系列の生徒7人が現場見学を行った。この日は和歌山県泉佐野市の新宮港港務施設整備工事現場で、ケーソン掘削機製作された約2500トンのケーソンを海上起重機船で三つ据え付けるという作業の目的や概要の説明を受けた。現場では、ケーソン掘削機の据え付け作業が行われていた。また、発注者である和歌山県の島田さんと請負業者夏山組の岸野監督から工事の目的や概要の説明を受けた。現場では、ケーソン掘削機の据え付け作業が行われていた。また、発注者である和歌山県の島田さんと請負業者夏山組の岸野監督から工事の目的や概要の説明を受けた。



1月26日(月)・27日(火)の2日間、本校にて小型車両系建設機械の運転の業務に係る特別教育の講習が実施され、3年建設技術系列選択生5人が受講した。初日は、悠久館実習室で、走行に関する装置の構造及び取扱いの方法や作業に関する装置の構造、取扱い及び作業方法、運転に必要な一般的事項に関する知識を勉強した。2日目はプール横の空き地で、走行の操作、作業のための装置の操作の実技講習を受けた。生徒たちは、学科の講習は難しい部分もあったようだが、実技はそれぞれがとても熱心に取り組んでいた。最初はおそろい操作していたが、最後にはある程度の作業をこなせるレベルになった。2日間しっかり受講した生徒たちは、無事講習修了証を取得できた。

1月26日(月)・27日(火)の2日間、本校にて小型車両系建設機械の運転の業務に係る特別教育の講習が実施され、3年建設技術系列選択生5人が受講した。初日は、悠久館実習室で、走行に関する装置の構造及び取扱いの方法や作業に関する装置の構造、取扱い及び作業方法、運転に必要な一般的事項に関する知識を勉強した。2日目はプール横の空き地で、走行の操作、作業のための装置の操作の実技講習を受けた。生徒たちは、学科の講習は難しい部分もあったようだが、実技はそれぞれがとても熱心に取り組んでいた。最初はおそろい操作していたが、最後にはある程度の作業をこなせるレベルになった。2日間しっかり受講した生徒たちは、無事講習修了証を取得できた。

無事修了証を取得

小型車両系建設機械特別講習

1月23日(金)に「先輩・地域の方々が先生に」1年「産業社会と人間」の授業で、先輩・地域の方々から先生に代わり、1年生を対象とした、地元で活躍されている方々が講師となって講演を実施した。これは「産業社会と人間」という科目の学習の一環であり、今年で8回目の実施である。インターンシップを次の週に控え、事前学習として行った。



「地域のための活動を」災害ボランティアセンター設置訓練 平成26年度「新宮市災害ボランティアセンター」設置訓練が1月25日(日)、熊野川川下で実施された。これは新宮市社会福祉協議会が主催して行われているもので、本校は防災教育にも力を入れていることから、この訓練に第1回から参加している。今回は教員3人と「熊野と防災」選択生およびクラブ員13人の生徒が参加した。生徒の内1人は運営ボランティアのオリエンテーション班として参加し、活動ボランティアの方々に活動の注意など説明を行った。また、活動ボランティアとして参加した生徒達は、車や徒歩でボランティア

先輩・地域の方々が先生に

講演をしていただいた方々はBOY・EXTの竹中博行さん、SACH Iの勢古啓子さん、谷地建設の和田秀洋さん、大浜保育所の新家のぞみさん、新宮市役所の梶田卓哉さん、医療センターの瀧川純子さんの6人。生徒はそれぞれ自分の進路希望に関連する講座に参加した。地域で活躍されている方々の話を聞く機会は数少ないことから、生徒たちは緊張しながらも講話に真剣に聞き入っていた。参加した生徒は「接客の原則であるあいさつ、身だしなみ、表情、言葉遣い、態度に気をつけてインターンシップに臨みたい」「保育所も看護師と同じように命に関わる仕事だと感じました」「患者さんが安心して過ごせるよう心がけて優しく接客することの大切さを感じました」などと感想を述べた。

卓球部女子ダブルスが 近畿高校新人卓球大会へ

昨年12月23日(火)、近畿高等学校新人卓球大会が滋賀県大津市で開催された。本校からも女子ダブルス1組が参加した。これは先に行われた



粘り強く頑張る精神で 第7回新翔高校マラソン大会

2月13日(金)、第7回新翔高校マラソン大会が開催された。大会当日は天候にも恵まれ、絶好のマラソン日和となった。コースは昨年と同様に新宮港付近の道路をお借りし、男子は8・1キロ、女子は6・1キロを走った。1・2年生は約2カ月間、体育の授業において持久走に取り組んできたが、生徒一人ひとりがその成果を出さないと必死に走っている姿が印象的だった。また、ゴールに向かって走っている生徒に対して「頑張れ！」や「あと少し！」といった励ましの声をかけている生徒もおり、仲間を思いやる姿が見られた。この大会を通して何事も最後までやり抜く力や、粘り強く頑張る精神を学んでもらえたのではないかと感じる。大会結果は別表の通り。

- 【男子】
▽優勝 坂 礼晟 (2年1組)
▽2位 高岡克哉 (2年1組)
▽3位 大屋日輪 (1年2組)
【女子】
▽優勝 木村美希 (1年5組)
▽2位 白倉桐夏 (2年2組)
▽3位 安井瑛和 (2年1組)